

【著書】

Fujisawa D, Hagiwara N.

Cancer stigma and its health consequences.

Current Breast Cancer Reports 7 : 143-150. 2015 [EPub ahead of Print] (*equal contribution)

橋口さおり

鎮痛を評価していますか。マルチモーダル鎮痛を心がけていますか。初期鎮痛モダリティからのステップダウン成功のコツは？

ポケット版術後痛サービス (POPS) マニュアルアップグレードのためのプロトコール集.

POPS研究会編

POPS研究会. 12-15、26-27、85. 2015.

橋口さおり

9. オピオイド鎮痛薬の副作用対策. 1) 悪心・嘔吐、便秘、眠気

慢性疼痛治療～現場で役立つオピオイド鎮痛薬の必須知識～ 細川豊史編

医薬ジャーナル社. 148-152. 2015.

橋口さおり

WHO方式がん疼痛治療法

緩和ケアの基本66とアドバンス44 学生・研修医・これから学ぶあなたのために.

木澤義之, 齊藤洋司, 丹波嘉一郎編.

南江堂. 43-44. 2015.

竹内 麻理

痛みのアセスメント, 痛みに影響する要因, 痛みの分類

緩和ケアの基本66とアドバンス44 学生・研修医・これから学ぶあなたのために.

木澤義之, 齊藤洋司, 丹波嘉一郎編.

南江堂. 38-42. 2015.

橋口さおり

持続皮下・静脈内注入療法 (橋口さおり)

誰にでも理解できる緩和ケアの実践書 花岡一雄編

克誠堂出版. 217-221. 2015.

橋口さおり

緩和ケア—動向とこれからの方向性—.

慶應義塾大学生命倫理セミナー4 慶應義塾大学医学部医学教育統括センター編

慶應義塾大学出版株式会社. 91-116. 2015.

大野裕、藤澤大介、中川敦夫、佐渡充洋、菊地俊暁、田島美幸、堀越勝.

スーパービジョンの実際.

日本精神神経学会誌 (in press)

藤澤大介

セミナー がんサバイバーシップ—患者と家族を支えるために知っておきたいこと

⑥がんサバイバーシップと栄養・健康習慣.

臨床栄養 127(7). 952-56. 2015.

藤澤大介

セミナー がんサバイバーシップ—患者と家族を支えるために知っておきたいこと

⑤栄養士が知っておきたいがん患者さんの家族ケア.

臨床栄養 127(6). 801-5. 2015.

藤澤大介

がん治療にいかす心理アセスメント.

治療に活かす心理アセスメント 特別企画—平島奈津子=編

こころの科学 184(11). 73-78. 2015.

藤澤大介

認知行動療法の評価尺度—QIDS-SR、DAS24、治療者評価尺度.

臨床精神医学 44 増刊号 (in press)

金子 健

オピオイドスイッチング (内服薬が服用できないときの投与経路変更)

がん読本 No. 4 有賀悦子ほか監修

株式会社インターサイエンス社 3-4. 2015.